

STROBOSTOMP HD™ peterson STROBE TUNERS

StroboStomp HD™ 取扱説明書

使用上のご注意

- この取扱説明書をよくお読みください。
- 高温、多湿、埃の多い場所での使用は避けてください。
- 高品質な電源アダプター (DC9V) をお使いください。

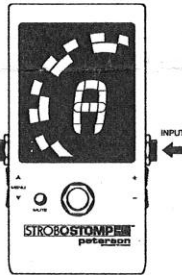
使い方の基本

本機の電源は、9V 乾電池 or 9V 電源アダプターです。電池を交換する際は、底の電池蓋を開けて電池スナップから使用済電池を慎重に外し、新しい電池に交換します。電池は高品質のアルカリ電池を使用してください。電池で使用しているとき、本機はパワーセーブ・モードになります。楽器の信号が入力されない時には、自動的にディスプレイが暗くなります。電源アダプターで使う場合 DC IN 端子に繋がります。このとき DC OUT (電源出力) 端子から、他のペダルに電源を供給もできます。この場合は、アダプターの極性と出力容量を確認してください。

+ - 9V DC Regulated 85mA

警告: 誤った電源アダプターを使うと本機が故障・破損する場合があります。くれぐれもご注意ください。

本機は箱から出せばすぐに使えます。電池を取り付けて右側の INPUT に楽器用ケーブルを差せば電源 ON です。左側の OUTPUT からはアンプ or 他のエフェクトペダルに繋がります。フットスイッチを踏むと楽器の信号をミュートし、チューニングができます。再度フットスイッチを踏んでミュートを解除したら演奏します。



チューニング中、音名 (アルファベット) は画面中央に表示します。チューニングは、ストロ・ポバンド (音名の周りの半円状の帯) を確認しながら行います。楽器の音程が低いと左に、音程が高いと右に回ります。回転がほぼ止まって落ち着けば、0.1 セントの精度でチューニングが合った状態です。

電池残量は画面左下のアイコンで以下の場合に確認できます。

- 電源 ON 時 or チューニング画面になってからの数秒間。
- 電池残量が少ない場合。
- 設定画面の表示中。

初めてのストロボ・チューニング

ストロボ・チューナーを初めて使うと、他のチューナーより繊細で正確であると気づくでしょう。弦楽器のチューニングをする時は、弦を弾く時も弾き手の「タッチ」を調整する必要があります。正確にチューニングすることに慣れるまで、初めのうちは、ピックの代わりに指を使ってやさしく弦を弾くか、楽器の音量を抑え気味に行ってください。

詳細な設定

本機は 3 つの出力モード (TB | BB | MM) を切り替えられます。切り替えは電池蓋の内側のスイッチで行います。

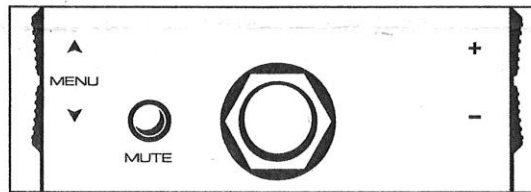
TB	トゥルー・バイパス バイパス時の出力はトゥルー・バイパスで、入力から出力までチューナー回路を通りません。フット・スイッチを踏んでチューナーを ON にすると、出力をミュートしてサイレント・チューニングができます。
BB	バッファード・バイパス バイパス時の出力はバッファード回路を通ったロー・インピーダンス信号になります。ケーブルが長い場合や、エフェクト・ペダルを沢山繋ぐ場合におすすめです。フット・スイッチを踏んでチューナーを ON にすると、出力をミュートしてサイレント・チューニングができます。
MM	バッファード・バイパス/モニター・モード (初期設定) バイパス時の出力は BB と同じくバッファード回路を通ったロー・インピーダンス信号になります。フット・スイッチを踏むと、出力をミュートしてサイレント・チューニングができます。ミュートを解除した場合もチューナーは作動し続けます。

一般的な操作とパラメータ設定

この取扱説明書で使用する用語の説明です。

- クリック: ボタンを短く押してすぐに離す。
- プレス&ホールド: 目的の項目が表示されるまでボタンを押し続ける。

本機の設定には左右 2 つずつ計 4 つのボタンを使います。左の 2 つは MENU (▲▼)、右の 2 つは (+-) です。



▲ or ▼ ボタンをクリックするとパラメータを選べます。パラメータは設定し終わるまで点滅しています。設定したい項目になったら (+ or -) をクリックし値を設定します。(+) or (-) ボタンはプレス&ホールドする(押し続ける)と離すまで値が速く変わり続けます。パラメータ値を設定したら、点滅中に ▲ or ▼ ボタンを押すと点滅が終わります。または何もしなくても数秒以内に点滅が終わります。

パラメータが点滅している時に、▲ボタンと+ボタンを同時に押しすと、そのパラメータは初期値にリセットされます。

チューニング画面

本機には大きく分けて 2 つのメイン画面 (チューニング画面と設定画面) があります。普段はチューニング画面で、電源 ON でストロボ・バンドと音名を表示します。

Sweetener と弦番号表示プリセット

本機は様々なチューニングに対応するプリセットを 130 種類以上備えています。その多くは Sweetener と呼ばれ、様々な楽器それぞれに合わせた 0.1 セント単位の微調整を施してあります。プリセットが Sweetener の場合はプリセット名の上に SWEETENER を表示します。

また 80 以上のプリセットでは音名ではなく弦を番号でも表示できます。この設定にするとギターやベースのチューニング時に音名ではなく弦の番号(1 弦・2 弦・・・) でチューニングできます。

メモ: 初期設定では音名を表示していますが、設定は変更できます。「弦番号表示に変更する」を参照)

Sweetener や弦番号表示のプリセットでは、チューニング画面で他にも 3 つの設定が可能です。①ドロップ/カポ・チューニング ②コンサート・ピッチ ③ディスプレイ・カラーで、それらは表示中のプリセットに保存し、他のプリセットには反映しません。すなわちプリセット毎に異なる設定をして保存できるということです。なおプリセット・パラメータはデフォルト値だと画面には表示しません。詳しくは下表を参照してください。

プリセット EQU (平均律) は特定の楽器用としてではなく、高精度のクロマチック・チューナーとして使います。各音毎の微調整は全く行っていません。

デフォルトのプリセット設定値

パラメーター	デフォルト値
プリセット	EQU (平均律)
Drop / Capo (ドロップ/カポ)	0
Concert A (コンサート・ピッチ)	440.0 (Hz)
ディスプレイ・カラー	オレンジ
チューニング・ピッチ名表示*	音名

* 選択したプリセットに、弦番号表示の機能が設定されている場合にのみ使えます。

プリセットを選ぶ

まず、プリセット名が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に (+ or -) ボタンでプリセットを選びます。新しいプリセットを選択したら、MENU (▲ or ▼) ボタンを押すか、しばらくそのままにおいて値を決定します。プリセットを素早くデフォルト (EQU) に戻すには、プリセット名が点滅するまで MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。



工場出荷時の初期設定では、最も使用するプリセットがプリセット・リストの始めに移動します。(+) ボタンをクリックするだけで、最近使用したプリセットを選べます。

注: どのパラメータも点滅していないときに、(+ or -) ボタンをクリックすると、直ぐにプリセットの選択ができます。

ドロップ/カポ・チューニングを設定する



ドロップ/カポの値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして、-6 ~ +5 の値を設定します。ドロップ/カポの値をデフォルトの 0 に戻すには、まずドロップ/カポの値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。

移調設定では、チューニング時に表示する音名を変更します。これは音程を下げてチューニングしたり、カポを使ってキーを上げたりする弦楽器奏者に便利です。ドロップ/カポを設定するだけで、音名を数え直したりせず、各弦の標準音名のままでチューニングができます。

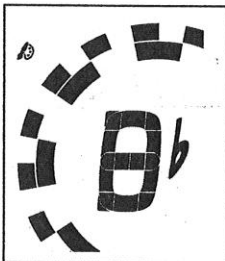
コンサート・ピッチを設定する

まず、[Concert A] の値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして、390 ~ 490Hz の値を設定します。(+) ボタンは、クリックで 0.1Hz ずつ、プレス&ホールドで 1Hz ずつ増減します。



コンサート・ピッチを変更すると、プリセットのチューニング全体をずらしたり、チューニングを変更できない楽器に合わせてチューニングをすることができます。コンサート・ピッチをデフォルトの 440 Hz に戻すには、まず [Concert A] が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。

ディスプレイの色を変更する



筆 & パレットのアイコン (icon) が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして、10 色の中から 1 色を選びます。色を変えておけばライブ中のステージでプリセット名を確認しづらい場合でも、色だけでプリセットを判断できます。

グローバル・カラー (3 頁参照) に戻すには、まず筆 & パレットのアイコンが点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。

注: ここで変更した色は現在使用中のプリセットのみに反映されます。全てのプリセットに同じ設定をしたい場合は、設定画面の項のグローバル・カラー設定で行います。

弦番号表示に変更する (対応プリセットのみ)

プリセットによっては音名の代わりに弦番号を表示させることができます。表示できるプリセットの場合は、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックしていくとディスプレイの右下に「nOtE」(音名) または「Str」(弦番号) と表示するので、(+ or -) ボタンでどちらかに設定します。例えば、プリセットの GTR は弦番号を表示できます。「Str」に設定すれば「E・A・D・G・B・E」の代わりに「6・5・4・3・2・1」と表示します。メモ: 「Str」にするとクロマチック・チューナーとしては機能しなくなります。代わりに、シャープやフラットを意識せず弦の番号だけでチューニングできます。



使用中のプリセットをデフォルトに戻す

使用中のプリセットの全てのパラメータをデフォルト値に戻すには、▼と+ボタンを同時に約 2 秒間押し続けます。すると MUTE LED が 1 回点滅し、コンサート・ピッチ | ドロップ/カポ設定 | ディスプレイの色がデフォルトに戻ります。

設定画面

ここからは設定画面を説明します。ここではシステム情報の確認や詳細な設定ができます。設定画面には電池残量とファームウェア・バージョンが常に表示されています。

設定画面にするには、歯車アイコンが点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に (+ or -) ボタンをクリックします。

設定画面を表示しているときに、何も操作を行わないとチューニング画面に戻ります。また (+ or -) ボタンで各設定をし終えても数秒間操作しなければ、チューニング画面に戻ります。再び設定画面にするには、歯車アイコンが点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に (+ or -) ボタンをクリックします。

設定画面では、以下の設定が可能です。

パラメータ	デフォルト値
画面色 (全プリセット)	オレンジ
個別プリセット表示	ON *
オクターブ表示	OFF
変化記号表示	SHP (シャープ)
コンフィギュレーション設定	DEF (デフォルト)
自動プリセット配列	ON

*工場出荷時のプリセットによっては、デフォルトで OFF になっている場合があります。

上記のパラメータに加えて、ファームウェアとハードウェア・バージョン、更に工場出荷時に戻すこともできます。

設定画面では以下のパラメータを設定可能。



クリックし、続けて (+ or -) ボタンをクリックして、表示 or 非表示にするプリセットを選びます。この状態でフットスイッチを押す度に ON と OFF が切り替わります。

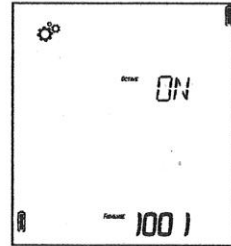
全てのプリセットを ON にするには、▲と+ボタンを 0.5 秒間押しします。EQU 以外の全てのプリセットを OFF にするには、▼と-ボタンを 0.5 秒間押しします。どちらの場合も MUTE LED が一回点滅すれば完了です。

例えば、[EQU] [GTR] [ACU] の 3 つだけを表示させたい場合、まず全ての表示を OFF にしてから、[GTR] と [ACU] の 2 つだけを ON にすれば簡単です。

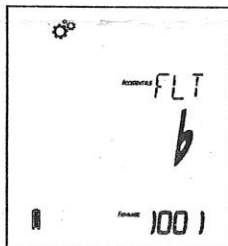
注:少なくとも1つのプリセットは ON にする必要があります。[EQU] を OFF にしたい場合は別のプリセットを ON にしてから行います。

オクターブ表示の設定

[OCTAVE] の設定値が点滅するまで MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして、ON or OFF を設定します。これでチューニング画面でのオクターブ番号を表示 or 非表示にできます。オクターブ表示をデフォルト (OFF) に戻すには、[OCTAVE] の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▲と+ボタンを同時に押しします。



変化記号 (#b) 表示の設定



[ACCIDENTALS] の設定値が点滅するまで MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして、[SHP] (シャープ) | [FLT] (フラット) | [bTH] (混合) から選んで設定します。変化記号設定は、チューニング画面の音名の横に表示される記号を変更します。

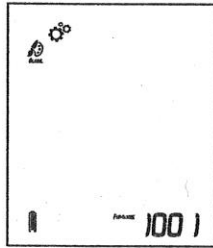
変化記号をデフォルト (SHP) に戻すには、まず [ACCIDENTALS] の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▲と+ボタンを同時に押しします。

注: Peterson Connect で独自に設定したプリセットで、そのプリセットに特化した変化記号を設定している場合は、このグローバル設定を上書きします。

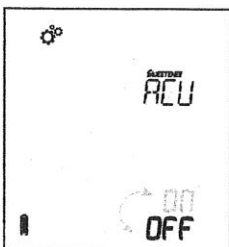
ディスプレイのグローバル・カラーを設定する

グローバル・カラーでは全プリセットでディスプレイの共通の色を設定できます。パレットアイコンが点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。グローバル・カラーではパレット・アイコンの下に [GLOBAL] が表示されます。次に (+ or -) ボタンをクリックして、10 色から1色を選びます。これで今までにプリセット毎の色設定をしていない全てのプリセットが共通の色になります。この後チューニング画面でプリセット毎の色を設定すると、グローバル・カラーで設定した色を上書きします。

グローバル・カラー色をすばやくデフォルトのオレンジ色に戻すには、パレットアイコンが点滅するまで MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▲と+ボタンを同時に押しします。



各プリセットの表示/非表示を設定する

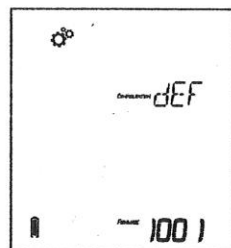


プリセット毎の表示 or 非表示を設定して、表示するプリセットを絞り込むことができます。よく使うプリセットだけを表示するようにすれば、130 以上もあるプリセットを全てスクロールしなくて済みます。プリセット名が表示されディスプレイ右下の ON (or OFF) 点が減るまで、MENU (▲ or ▼) ボタンを

コンフィギュレーション設定を変更する

コンフィギュレーションとはプリセットや各種設定をまとめたグループのことです。工場出荷時の状態では、[dEF] (デフォルト) だけが選べます。Peterson Connect を使うことで独自に製作したコンフィギュレーションを追加し、この設定で切り替えることができます。

コンフィギュレーションを変更するには、[CONFIGURATION] の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に (+ or -) ボタンをクリックして [dEF] (デフォルト) またはダウンロードしたコンフィギュレーション (通常は [USR]) から選びます。



コンフィギュレーションを[DEF]に戻すには、まず[CONFIGURATION]の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。

注:コンフィギュレーションを変更すると、すべてのユーザー設定はリセットされます。

コンフィギュレーションのユーザー設定をリセットする

現在のコンフィギュレーションのユーザー設定をリセットするには、まず[CONFIGURATION]の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▼と-ボタンを同時に押します。右下に[rSt]と表示されたらリセット完了です。

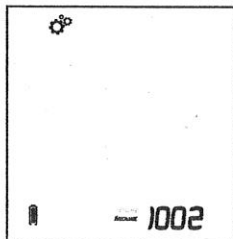
自動プリセット配列の設定の変更

[AUTO-ORDER PRESETS]の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に(+ or -) ボタンをクリックして、[ON]または[OFF]から選びます。この機能では、よく使うプリセットを中心に自動で順番を並び替えるかどうかを設定できます。

自動プリセット配列をデフォルト(ON)にするには、[AUTO-ORDER PRESETS]の設定値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に▲と+ボタンを同時に押します。



ハードウェアとファームウェアのバージョンを確認する



設定画面では、初め右下にファームウェア・バージョン [FIRMWARE] を表示しています。ハードウェア・バージョンを確認するには、表示がハードウェア・バージョン [HARDWARE] に切り替わるまで MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックします。

工場出荷時の状態に戻す

FACTORY RESET を実行すると本機は出荷時の状態になります。全てのプリセットをリセットし、設定画面パラメータがデフォルトに戻り、追加したユーザー設定データをすべて消去します。[FACTORY RESET]の値が点滅するまで、MENU (▲ or ▼) ボタンをクリックし、点滅中に(+ or -) ボタンをクリックすると、「5・4・3・2・1」とカウントダウンが始まり、それに同期して MUTE LED が点滅します。カウントダウン中に4つのボタンのいずれかをクリックするとFACTORY RESET をキャンセルできます。



Peterson Connect

Peterson Connectのウェブサイトでは、自分の好みの設定でプリセットを作れます。そして、どのスイートナーや音律で表示するかを選んで保存ができます。この設定はUSB経由で行います。ウェブサイト登録する時、すべての設定はチューナー本体とウェブサイト、両方に保存できます。パソコン経由でウェブサイトへ繋ぐと、ファームウェアのアップデート等も行えます。

<http://www.PetersonTuners.com/connect>

Peterson Connectでは以下のことが可能です

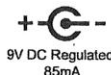
- ・ファームウェアの更新
- ・オリジナルの Sweetener やプリセット作成
- ・Sweetener やプリセットの設定
- ・プリセット・リストの並べ替え|縮小|拡張
- ・画面設定の調整

Peterson Connectを使わなくとも本体だけで設定ができます。ただし、カスタマイズを行う方は Peterson Connect を利用したほうが便利な場合があります。Peterson Connect を使うには本機とパソコンをUSBケーブルで繋いでください。

注: micro USB ケーブルの中には、データ転送ができない充電専用のものがあります。本機で使う場合はパソコンとデータ転送ができるケーブルをご利用ください。

スペック

- ・チューニング精度は0.1セント
- ・トゥルー・バイパス・スイッチ
- ・パワファア出力モード搭載
- ・バックライト付き高精細液晶ディスプレイ
- ・バックライトの色を変更可能
- ・直射日光やステージ・ライトでも見やすいディスプレイ
- ・130以上のプリセット
- ・コンサートピッチは390Hz～490Hzで設定可能
- ・ドロップ(-6) /カボ(+5) 設定可能
- ・ファームウェアのアップデート可能
- ・Micro USB 端子
- ・Peterson Connect™ 使用可能
- ・9V 乾電池 or 電源アダプター (9VDC センター・マイナス)
- ・129D × 66W × 53H mm (フットスイッチ含む)
- ・400g



[サポート]お問い合わせ]

日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社

www.electroharmonix.co.jp

〒162-0053 東京都新宿区原町 3-37

TEL: 03-3232-7601 FAX: 03-3232-7424